

MapsUTマニユアル^{第4版} (1998年8月7日)

現時点での最新バージョン (VER 0.60) に基づいて内容を更新しました。
ハンドル名をKAKERAからD.T.に変更しました。

事務的な事

お客様とお約束

本ソフトウェアの使用によって生じたいかなる結果および損害に対して作者は責任を負いません。ユーザー登録された際、使用許可は登録者本人のみです。以上のことに同意された方のみ使用および試用してください。

開発環境

Macintosh LC630(36M)/MacOS 7.6.1(J)
/Metrowerks CodeWarrior P3(J) PowerPlant

参考、引用など

タブ切りテキスト例作成の為にMapFan 1の路線検索(東海道新幹線の一部)を利用しました。

入手先

ソフト

D.T.のSOFT置き場 http://member.nifty.ne.jp/kakera_s/

マニュアル

D.T.のPDF置き場 http://www2.justnet.ne.jp/kakera_s/

ユーザー登録

本ソフトウェアの使用料金はMapsViewとKPPのMap関連ファイルと合わせて1000円です。登録の際は以下の2点を行ってください。

1.口座への振込

1000円を以下の口座に振り込んでください。

東海銀行 覚王山支店 普通1412369 カケラ ソフト

2.メールの送付

D.T.(qzb00532@nifty.ne.jp)宛に付属の「ユーザー登録」を用いてメールを送ってください。

その他

転載自由(メールなしで、どうぞ御自由に)。ご要望、バグレポート、開発のヒントなどがありましたら御連絡ください。 D.T.(qzb00532@nifty.ne.jp)

Tableについて

CasiLink0.80,MapsUT0.60,MapsView0.65から、この3ソフトのTableに関するコードを共通化しました。

説明文章内でRow,Colを用いるのは、作者が行と列がどっちがどっちだか知らない為。何回決まりを調べ直しても自然な感覚にならなかった為、行と列は使わないことに自分で決めた為。

ドキュメント

ヘッダ文字列を持つタブ切りテキストです。

地図ソフトデータとのやりとりはインポート、エクスポートを通して行われます。

地図ソフトデータはドキュメントではないのでインポート、エクスポートしてもファイルとウインドウの結び付きはありません。

ヘッダ文字列

ドキュメントの1行目は、どのモードで読めばいいか示します。ヘッダ文字列は6文字「>>___」です。後ろ4文字が各モード固有です。この4文字はTableの左上のセルに表示されます。

モード	4文字
AtlasMate2.0マーク	AM__
MappleLife2.1マーク	ML__
AtlasMate2.0ルート	AM_R
MappleLife2.1ルート	ML_R
MapFan1.0ルート	MF_R

セルのチェック

「開く」または「インポート」した後およびセルを編集をした後、セルのチェックが行われます。セルのチェックエラーには2種類あります。

赤エラー・・・文字と枠が赤色になります。フォーマットがおかしい場合などに起こります。原因がRow全体にある場合は左見出しにエラーが出ます。このエラーが出たセルが存在すると「エクスポート」が出来ません。

黄エラー・・・セルの背景が黄色になります。「開く」の後に起こりうるエラーです。ファイル中の1セルバイト数が255バイト超の場合に起こります。このエラーはファイルとウインドウが一致していない事を示します。ウインドウ中のセルにはファイル中のセルの先頭から255バイト分のみがセットされています。このエラーが出てウインドウ中のデータを元に通常通りの振る舞いをします。

セルの編集

入力できるバイト数や文字種は各セルによって変化します。その制限でも除去しき

れない場合、赤エラーになります。

編集状態の解除はReturnキー、Enterキーを押すかTable内の別部分をクリックするかすると行われます。

日本語インライン入力に未対応。2バイト文字のバックデリート後にUndoを行うと不具合が生じます。

Undo Redo

セル編集前のものとセル編集後のものの2種類のUndo Redoがあります。

セル編集後Undo RedoはRowの挿入削除、Colの削除が行われると無効になります。

Rowの挿入削除、Colの削除

見出しが選択されている場合、各削除コマンドが有効になります。ただし上見出しの内選択できるのは余分なColに対してのみです。

左見出しが選択されていない時のRowの挿入位置は一番下になります。

Col幅の変更

上見出し内のColとColの境界にカーソルを持っていくとカーソルが変化します。その場所からドラックするとCol幅が変更されます。余分なColに対してはCol幅の変更はできません。

改行の代理コード

地図ソフト側の改行をタブ切りテキスト内で表現するために、改行の代理コードを用いています。以前用いていた0x0AではDos対応のエディタで開くと意図とは違うように表示がされます。日経MAC98年6月号p188の記事を参考にして0x0Bに変更しました。以前保存しておいた文書で改行の代理コードが含まれている場合は、置き換えてから「エクスポート」してください。

その他

ドロップ時の動作

ドロップされたファイルのタイプによって「開く」または「インポート」が実行されます。旧MapsUTを使用されていた方はデスクトップの再構築を行わなければならないかもしれません。

初期設定

お使いのAtlasMateのバージョンによって設定してください。



AtlasMate2.0のマークについて(AM__)

MapsUTはAtlasMate2.0に対してはマークデータを対象としています。

(各項目)(?が最後に付く項目は値として0か1をとるもの)

アイコン種---1~2254 (->アイコン種の補足)

アイコン表示縮尺---0~11 (0は1280万分の1,11は6250分の1)

東経---「XXX-XX-XX-X」(->北緯東経の補足)

北緯---「XX-XX-XX-X」(->北緯東経の補足)

詳細情報の右シフト---ドット単位のズレ

詳細情報の下シフト---ドット単位のズレ

詳細情報---255バイトまで

小アイコン表示? ---1は「小アイコン」、0は「大アイコン」

詳細情報表示? ---1は「表示する」、0は「表示しない」

(アイコン種の補足)

左上から右へ数える

範囲外の値の場合「?アイコン」が表示される

ランドマーク-----1~37

レジャー-----51~80

スポーツ-----101~116

交通情報-----151~183

イメージ-----201~242

動物・昆虫-----251~281

植物-----301~318

ビジネス-----351~362

ショップ-----401~428

飲食店-----451~474

ユーザーマーク---2000~2254

(北緯東経の補足)

サポートしない値のマークをAtlasMateに読み込ませますと地図上に表示されません。そのマークにアクセスするにはマーク検索で指定できますが次のようなダイアログが出ます。「表示領域が日本地図の範囲外です。」「指定されたファイルがありません。」



MappleLife2.1のマークについて(ML__)

MapsUTはMappleLife2.1に対しては「DBXフォルダ内」の拡張子「.DBX」を持つファイルを対象としています。

(各項目)(?が最後に付く項目は値として0か1をとるもの)

タイトル表示? ---1は「表示する」、0は「表示しない」

アイコン表示? ---1は「表示する」、0は「表示しない」

アイコン種---0~39

フォント名---63バイトまで (->フォント名の補足)

フォントサイズ---9,10,12,14,18,24,36

(->フォントサイズの補足)

フォント色---0~15(左上から右へ数える)

東経---「XXX-XX-X」(->北緯東経の補足)

北緯---「XX-XX-XX-X」(->北緯東経の補足)

タイトル---32バイトまで

テキスト内容---255バイトまで

コメント---32バイトまで

表示レベル--1~7(1は40万分の1、7は6250分の1)

(フォント名の補足)

インストールされていないフォント名を指定しますとシステムフォントをMappleLifeは選択して表示するようです。

(フォントサイズの補足)

サポートしない値をMappleLifeに読み込ませますと表示フォントは指定したサイズで表示されますがポップアップメニューは9ポイントとなります。

(北緯東経の補足)

サポートしない値のアイコンをMappleLifeに読み込ませますと地図上に表示されません。そのアイコンにアクセスするにはマーク検索で指定できますが何も行いません。

(注) PICTパス、MOVIEパスには対応していません。



MapFan1.0のマークについて

MapFanは1997年10月時点でバージョン2.0ですが、作者は1.0のみ所有している
ので以下1.0に基づいて記述します。

MapFan自体がタブ切りテキストに入出力する機能を有しているのでMapsUTの対
象ソフトとしていません。しかし将来対応する予定です。

MapFanのタブ切りテキスト入出力機能についての説明は以下を参考にしてくださ
い。

MapFan操作マニュアルp38

「他のアプリケーションソフトウェアで作ったデータの利用」

CD-ROM内「最初にお読みください」386行目

「テキストの書き出し、読み出し」

MapFanの北緯東経データをMapsUT形式に表計算ソフト(Mariner-J)で変換する式
を付属テキストファイルとして用意しました。参考にしてください。



AtlasMate2.0のルートについて(AM_R)

AtlasMateのルートモードは12データ固定です。必要に応じてダミーのデータ(-)を任意の場所に加えてください。

AtlasMateのルートデータは状態ファイルの1部です。その為、エクスポートする際、元となる状態ファイルを指定する必要があります。ソフトの指示に従ってください。



MappleLife2.1のルートについて(ML_R)

特になし。



MapFan1.0のルートについて(MF_R)

特になし。